

『夏季恒例 ビール工場見学懇親会』 報告書

東京支部（堺精一支部長）では、本年度で6回目となる「ビール工場見学懇親会」を七夕の7月7日(土曜日)に開催しました。

昨年のサントリー武蔵野ビール工場に続き4年ぶりのアサヒビール茨城工場を見学してきました。大手ビール会社4社を巡る為アサヒビールはサッカーワールドカップの年となります！

集合場所の守谷駅には東京秋葉原駅からつくばエクスプレス利用で約30分。14時に11名が集合し、ビール工場のシャトルバスで約10分、濃い緑と豊かな水に囲まれたビール工場に到着。まずは全員で記念撮影です。



<ゲストハウスでの記念撮影>

工場見学はオリエンテーションシアターから始まりました。案内レディの原さんは4年前も担当いただいた方で、和気あいあいとした雰囲気の中で各工程の見学へ。

- ①ビール主原料の麦芽の試食とホップに触れる
- ②仕込室での（中央コントロールルーム）麦汁作り工程
- ③バーズアイビジョンでの発酵の仕組みの説明
- ④麦汁のビール酵母を加えて発酵・熟成工程での大型タンクは圧巻であった
- ⑤熟成ビールから黄金色に輝くビールに変身させるろ過工程
- ⑥ダイナミックな製造ラインでの瓶詰・缶詰工程
- ⑦工場内で発生する副産物・廃棄物の再資源化の取り組み
- ⑧品質管理として選抜試験に合格したバネリストによる試飲官能検査の説明



そして地上 30mのスカイロードから美しい庭園を望みつつ、地上 60mのアイムタワーへ到着。

試飲は、20分間で3杯まで可能との説明を受け、まずは冷やしたグラスにクリーミーなスーパードライで乾杯。2杯目・3杯目はスーパードライ ExtraCold・スーパードライブラックを各自の好みで味わった。家庭でのビール缶から美味しくいただく注ぎ方も披露いただき至福の時間でした。工場見学所要時間 90分が終了となりました。



工場見学後の懇親会は、秋葉原へ戻り『寿司や銀蔵』での開催となり 11名全員が参加。前回同様に校友でアサヒビール社員の松本寿子さんから提供いただいたアサヒビール商品とビール工場ショップで購入した『お土産獲得じゃんけん大会』を行い、少人数ながら大いに盛り上がりで懇親を深め、来年のサッポロビール千葉工場見学での再会を誓い、閉会となった。



関西大学校友会東京支部「ビール工場見学懇親会」

幹事：堺 精一（昭和 50 年工卒）

中岡英之（昭和 59 年商卒）